

# 四半期報告書

(第25期第2四半期)

自 2020年6月1日

至 2020年8月31日

株式会社イオンファンタジー

千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1

# 目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1
第2 事業の状況	
1 事業等のリスク	2
2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
3 経営上の重要な契約等	4
第3 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	5
(2) 新株予約権等の状況	5
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	5
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	5
(5) 大株主の状況	6
(6) 議決権の状況	7
2 役員の状況	7
第4 経理の状況	8
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	11
四半期連結包括利益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
2 その他	20
第二部 提出会社の保証会社等の情報	20

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年10月14日

【四半期会計期間】 第25期第2四半期(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)

【会社名】 株式会社イオンファンタジー

【英訳名】 AEON Fantasy Co., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 藤原 信幸

【本店の所在の場所】 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1

【電話番号】 043(212)6203(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 経本部長 井関 義徳

【最寄りの連絡場所】 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目6番地

【電話番号】 043(212)6203(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 経本部長 井関 義徳

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第24期 第2四半期 連結累計期間	第25期 第2四半期 連結累計期間	第24期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年8月31日	自2020年3月1日 至2020年8月31日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (千円)	38,959,963	16,380,734	73,492,760
経常利益又は経常損失(△) (千円)	2,394,055	△6,096,864	2,387,388
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失(△) (千円)	1,176,420	△7,115,985	△325,107
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	694,482	△7,351,615	△641,620
純資産額 (千円)	28,958,697	19,290,344	27,128,638
総資産額 (千円)	60,875,178	55,758,434	55,739,580
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失(△) (円)	59.60	△360.17	△16.47
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	59.50	—	—
自己資本比率 (%)	46.7	34.1	47.8
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	3,754,241	△1,940,883	10,271,056
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△5,449,305	△3,515,804	△10,849,726
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	3,006,698	7,535,061	96,686
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	6,028,831	6,225,476	4,132,140

回次	第24期 第2四半期 連結会計期間	第25期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年6月1日 至2019年8月31日	自2020年6月1日 至2020年8月31日
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△) (円)	75.52	△75.70

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第25期第2四半期連結累計期間及び第24期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため、記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の連結子会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」からの重要な変更があった事項は以下のとおりであります。

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内・中国及びアセアンの店舗で一時休業が発生していた状況を踏まえ当連結会計年度における売上高の著しい減少及びマイナスの営業キャッシュ・フローの発生リスクがあり、前事業年度の有価証券報告書提出時点において将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要なリスクを生じさせるような状況が存在すると認識しておりました。

しかしながら、国内においては、5月に緊急事態宣言の解除を受け、5月16日から順次営業を再開し、6月に東京都の営業再開をもって全国全店舗の営業再開となりました。売上高は第2四半期連結会計期間の既存店前年比は62.2%となり、第1四半期連結会計期間から41.4ポイント改善しております。また中国においては、8月末時点で207店舗中204店舗が営業しており、第2四半期連結会計期間の既存店前年比は74.8%となり第1四半期連結会計期間から51.9ポイント改善し第2四半期連結会計期間の営業利益は黒字となりました。売上構成比の高い国内及び中国において売上の回復及び売上に伴う営業キャッシュ・フローの回復が顕著であります。

また当社グループは精緻に策定した資金計画を実行し、新型コロナウイルス感染症の影響に対応できる十分な運転資金を確保しております。

以上を踏まえ、当第2四半期連結会計期間末において、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要なリスクを生じさせるような状況は解消したと判断しております。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年8月31日）の当社及び連結子会社の連結業績は売上高が163億80百万円（前年同期比58.0%減）となりました。営業損失は57億98百万円（前年同期営業利益28億52百万円）、経常損失は60億96百万円（前年同期経常利益23億94百万円）、新型コロナウイルス感染拡大による国内及び海外の店舗休業期間に生じた固定費等40億49百万円の特別損失、法人税等調整額マイナス19億50百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は71億15百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益11億76百万円）となりました。

本年第1四半期連結会計期間において世界的に広まった新型コロナウイルス感染症の影響により、国内、中国及びアセアンの全事業において長期間の店舗休業を余儀なくされましたが、5月に入り感染予防対策を行い国内及び中国事業は大半の店舗を営業再開いたしました。第2四半期連結会計期間には感染予防対策を継続実施するとともに人気景品投入や販促イベントを実施し、売上回復に努めてまいりました。アセアン事業においても6月以降、フィリピンを除く4ヶ国が順次営業を再開いたしました。

当第2四半期連結累計期間は6店舗の新規出店をする一方で21店舗の閉店をいたしました。これらの結果、2020年8月末の店舗数は国内433店舗、海外432店舗の合計865店舗（直営店855店舗、F C等10店舗）となりました。

#### (国内事業)

国内事業は、政府による緊急事態宣言の解除と各自治体からの休業要請解除を受け、5月16日から順次営業を再開いたしました。営業を再開した当初は入場規制、遊戯機械の間引き稼働や営業時間の短縮等を実施しておりましたが、飛沫感染防止の亚克力板設置や消毒清掃の徹底などにより入場規制の一部解除と間引き稼働のとりやめを段階的に行い、通常営業時間へ戻してまいりました。販促イベントではお客さま還元企画として「えがおのチカラプロジェクト」を立ちあげ、プライズ部門では「とれやすいねブース」、メダル部門は「がっぼりいいね」を実施いたしました。

部門別ではプライズ部門において人気のキャラクターやモーリーファンタジー限定の景品を積極的に展開したことにより、全体の売上回復に大きく貢献いたしました。メダル部門では、大手外食企業とのコラボ企画によるメダルガラポンイベントを実施するなど集客に取り組みました。第1四半期連結会計期間に稼働を停止していた時間制遊具施設やシール機も全店稼働を再開しております。こうした取組みにより売上の回復が進み、第2四半期連結会計期間の既存店前年比は62.2%となり、第1四半期連結会計期間から41.4ポイント増となりました。

当第2四半期連結累計期間は、高い投資効果が見込める店舗を優先し、17店舗で活性化を実施するとともにガチャ専門コーナー「TOYS SPOT PALO」を新たに13か所展開し現在34か所体制となりました。また、当第2四半期連結累計期間は3店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等5店舗の閉店をした結果、2020年8月末の店舗数はFC2店舗を含め433店舗となりました。

以上の結果、国内事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高135億53百万円(前年同期比56.9%減)、営業損失48億17百万円(前年同期営業利益31億10百万円)となりました。

#### (中国事業)

中国事業は、5月末時点で直営211店舗中193店舗が営業を再開し、一時期北京や大連地区でクラスター発生により臨時休業いたしましたが、その後感染拡大は収束し8月末時点で207店舗中204店舗が営業しております。

中国当局の新型コロナウイルス感染防止に関する規制の緩和に比例し、来店客数が回復いたしました。客単価をあげるため、トークンのセット販売やインドアプレイグラウンドの特典を付けた福カードの販売が好調に推移したことにより、第2四半期連結会計期間の既存店前年比は74.8%となり、第1四半期連結会計期間から51.9ポイント増となりました。引き続き経費削減にも取り組み、第2四半期連結会計期間の営業利益は2億22百万円の黒字となりました。

当第2四半期連結累計期間は、不採算店舗等8店舗の閉店をした結果、2020年8月末の店舗数はFC5店舗を含め212店舗となりました。

以上の結果、中国事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高25億11百万円(前年同期比44.7%減)、営業損失1億55百万円(前年同期営業損失3億66百万円)となりました。

#### (アセアン事業)

アセアン事業は、5月末時点でベトナムの11店舗のみ営業再開をしておりましたが、各国政府当局の規制解除に併せて6月にタイとインドネシア、7月にはマレーシアと順次営業を再開いたしました。8月末時点でマレーシアは98店舗中94店舗、タイは26店舗中25店舗、インドネシアは28店舗中14店舗、ベトナムは全11店舗が営業しております。フィリピンは政府当局の規制による休業が続いております。各国、休業期間中はSNSを活用し、当社キャラクターとスタッフからのお子さまに向けたメッセージや感染防止対策の紹介等を配信し、コミュニケーションを図っておりました。そうした取組みによりお客さまが離反することなく、売上は回復に向かっております。特にベトナムは7月に既存店前年比109.6%まで回復が進みました。またタイにおいては開店延期になっていた新店を8月にオープンいたしました。

当第2四半期連結累計期間に3店舗の新規出店をする一方で、不採算店舗等8店舗の閉店をした結果、2020年8月末の店舗数はFC3店舗を含め220店舗となりました。

以上の結果、アセアン事業における当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3億82百万円(前年同期比87.9%減)、営業損失8億23百万円(前年同期営業利益1億11百万円)となりました。

## (2) 財政状態の状況

### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、119億円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円増加いたしました。主な内訳は、現金及び預金の増加(20億93百万円)、前連結会計年度末日が金融機関の休日であり、売上預け金のうち2月上旬分が翌営業日に決済されたことによる売上預け金の減少(15億29百万円)、たな卸資産の減少(5億15百万円)であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、438億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ16百万円減少いたしました。主な内訳は、投資その他の資産その他(繰延税金資産)の増加(19億28百万円)、閉店及び投資の抑制による建物の減少(8億23百万円)、使用権資産の減少(6億68百万円)及び遊戯機械の減少(5億15百万円)であります。

この結果、総資産は557億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、281億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ90億82百万円増加いたしました。主な内訳は、短期借入金の増加(92億50百万円)、遊戯機械の改廃に伴う設備関係支払手形の増加(6億98百万円)、未払法人税等の減少(2億14百万円)であります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、83億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億25百万円減少いたしました。主な内訳は、在外連結子会社における長期借入金の減少(5億77百万円)及びリース債務の減少(6億28百万円)であります。

この結果、負債合計は364億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ78億57百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、192億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ78億38百万円減少いたしました。主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(71億15百万円)、剰余金の配当による減少(4億93百万円)であります。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、62億25百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、減少した資金は19億40百万円となりました。その主な内訳は、税金等調整前四半期純損失91億18百万円の計上による資金の減少と、売上預け金の減少15億29百万円及び減価償却費52億80百万円の計上による資金の増加であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、使用した資金は35億15百万円となりました。その主な内訳は、新規出店や既存店活性化投資に伴う有形固定資産の取得による支出33億7百万円による資金の減少であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、増加した資金は75億35百万円となりました。その主な内訳は、短期借入による増加92億20百万円による資金の増加と、在外連結子会社における長期借入による資金の返済10億76百万円及びリース債務の返済による支出7億28百万円による資金の減少であります。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### (5) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	50,000,000
計	50,000,000

###### ② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	19,761,225	19,761,225	株式会社東京証券取引所(市場第一部)	単元株式数 100株
計	19,761,225	19,761,225	—	—

(注) 提出日現在発行数には、2020年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### ① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### ② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日	2,700	19,761,225	4,388	1,798,007	4,388	4,783,954

(注) 新株予約権の行使による増加であります。



## (5) 【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に対 する所有株式数 の割合(%)
イオン株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5-1	13,003	65.81
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	178	0.9
株式会社日本カストディ銀行(信 託口5)	東京都中央区晴海1丁目8-12	153	0.78
マックスバリュ西日本株式会社	広島県広島市南区段原南1丁目3-52	114	0.58
イオンフィナンシャルサービス 株式会社	東京都千代田区神田錦町1丁目1	114	0.58
イオンモール株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5-1	114	0.58
NOMURA INTERNATIONAL PLC A/C JAPAN FLOW	1 ANGEL LANE, LONDON, EC4R 3AB, UNITED KINGDOM	105	0.54
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-12	91	0.46
イオンファンタジー共栄会	千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目5-1	83	0.42
株式会社日本カストディ銀行 (信託口1)	東京都中央区晴海1丁目8-12	81	0.41
計	—	14,042	71.07

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,500	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,712,900	197,129	—
単元未満株式	普通株式 46,825	—	—
発行済株式総数	19,761,225	—	—
総株主の議決権	—	197,129	—

② 【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社イオン ファンタジー	千葉県美浜区中瀬 一丁目5番地1	1,500	—	1,500	0.01
計	—	1,500	—	1,500	0.01

2 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,132,140	6,225,476
売掛金	261,475	153,137
売上預け金	※1,※2 2,904,421	※1,※2 1,375,097
たな卸資産	※3 2,797,910	※3 2,282,657
その他	1,769,536	1,864,541
流動資産合計	11,865,484	11,900,910
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,896,962	6,073,096
遊戯機械（純額）	22,869,636	22,354,518
使用権資産（純額）	5,067,528	4,398,657
その他（純額）	2,161,568	2,227,830
有形固定資産合計	36,995,695	35,054,103
無形固定資産		
のれん	242,796	201,474
ソフトウェア	772,013	851,561
その他	4,420	4,163
無形固定資産合計	1,019,231	1,057,198
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	4,221,254	4,243,520
その他	※4 1,637,915	※4 3,502,700
投資その他の資産合計	5,859,169	7,746,221
固定資産合計	43,874,096	43,857,523
資産合計	55,739,580	55,758,434

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,160,533	1,179,340
短期借入金	5,402,819	14,653,309
1年内返済予定の長期借入金	2,868,614	2,826,508
リース債務	2,028,102	1,868,863
未払費用	1,677,617	1,972,952
未払法人税等	563,134	348,237
賞与引当金	339,572	318,438
役員業績報酬引当金	19,676	6,045
閉店損失引当金	56,552	42,284
設備関係支払手形	1,866,948	2,565,385
その他	3,084,888	2,369,690
流動負債合計	19,068,459	28,151,057
固定負債		
長期借入金	4,466,085	3,888,897
リース債務	3,854,006	3,225,956
退職給付に係る負債	371,690	357,813
資産除去債務	610,326	610,064
その他	240,373	234,300
固定負債合計	9,542,482	8,317,032
負債合計	28,610,942	36,468,089
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,785,403	1,798,007
資本剰余金	4,804,046	4,816,650
利益剰余金	20,644,877	13,035,138
自己株式	△3,190	△3,322
株主資本合計	27,231,138	19,646,473
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△401,806	△472,920
退職給付に係る調整累計額	△190,896	△177,176
その他の包括利益累計額合計	△592,703	△650,097
新株予約権	67,389	49,390
非支配株主持分	422,814	244,577
純資産合計	27,128,638	19,290,344
負債純資産合計	55,739,580	55,758,434

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	38,959,963	16,380,734
売上原価	33,302,440	19,879,707
売上総利益又は売上総損失(△)	5,657,523	△3,498,972
販売費及び一般管理費	※1 2,804,583	※1 2,299,641
営業利益又は営業損失(△)	2,852,939	△5,798,614
営業外収益		
受取利息	38,525	35,141
受取保険金	21,632	12,138
固定資産売却益	2,623	65
預り金受入益	15,723	718
リース解約益	—	71,612
その他	21,661	36,552
営業外収益合計	100,165	156,229
営業外費用		
支払利息	383,245	408,543
為替差損	50,396	13,152
固定資産売却損	101,598	23,191
その他	23,808	9,593
営業外費用合計	559,049	454,480
経常利益又は経常損失(△)	2,394,055	△6,096,864
特別利益		
店舗家賃免除益	—	※2 956,042
雇用調整助成金	—	※3 504,195
特別利益合計	—	1,460,237
特別損失		
閉店損失引当金繰入額	36,815	23,400
減損損失	※4 133,368	※4 268,081
店舗閉鎖損失	930	21,664
店舗休止損失	—	※5 4,049,774
感染症対策費	—	119,054
特別損失合計	171,114	4,481,975
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,222,941	△9,118,602
法人税、住民税及び事業税	1,194,193	110,576
法人税等調整額	△142,544	△1,950,920
法人税等合計	1,051,649	△1,840,344
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,171,291	△7,278,258
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,128	△162,272
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,176,420	△7,115,985

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,171,291	△7,278,258
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△488,864	△87,077
退職給付に係る調整額	12,055	13,719
その他の包括利益合計	△476,809	△73,357
四半期包括利益	694,482	△7,351,615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	727,673	△7,173,379
非支配株主に係る四半期包括利益	△33,190	△178,236

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,222,941	△9,118,602
減価償却費	5,326,124	5,280,286
固定資産除売却損益(△は益)	117,474	37,354
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,374	△18,061
受取利息	△38,525	△35,141
支払利息	383,245	408,543
受取保険金	△21,632	△12,138
リース解約益	—	△71,612
雇用調整助成金	—	△504,195
減損損失	133,368	268,081
売上債権の増減額(△は増加)	3,643	105,504
売上預け金の増減額(△は増加)	△4,639,116	1,529,299
たな卸資産の増減額(△は増加)	△106,114	500,865
仕入債務の増減額(△は減少)	628,841	22,851
その他	473,720	△379,199
小計	4,487,346	△1,986,165
利息の受取額	5,714	14,492
利息の支払額	△199,762	△263,198
雇用調整助成金の受取額	—	497,447
法人税等の支払額	△539,056	△203,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,754,241	△1,940,883
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,154,233	△3,307,970
有形固定資産の売却による収入	11,838	16,396
無形固定資産の取得による支出	△106,121	△159,975
長期前払費用の増加による支出	△129,046	△25,971
敷金及び保証金の差入による支出	△132,413	△74,987
敷金及び保証金の回収による収入	115,956	72,601
その他	△55,285	△35,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,449,305	△3,515,804
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,103,132	9,220,853
長期借入れによる収入	1,747,902	612,806
長期借入金の返済による支出	△1,334,369	△1,076,160
配当金の支払額	△492,889	△493,982
非支配株主への配当金の支払額	△7,019	—
リース債務の返済による支出	△1,009,965	△728,324
その他	△93	△132
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,006,698	7,535,061
現金及び現金同等物に係る換算差額	183,431	14,962
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,495,066	2,093,335
現金及び現金同等物の期首残高	4,533,764	4,132,140
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 6,028,831	※ 6,225,476



**【注記事項】**

(追加情報)

(重要な会計上の見積り：有形固定資産の減損テスト)

当連結会計年度の第1四半期報告書の(追加情報)(重要な会計上の見積り：有形固定資産の減損テスト)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

## ※1. 売上預け金

ショッピングセンターの店舗賃貸人に預けている売上代金であります。

## ※2. 四半期連結会計期間末日が休日のため増加した主な資産

前連結会計期間末日が金融機関の休日のため、下記の科目に含まれている翌営業日に決済された金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
売上預け金	2,184,993千円	一千円

## ※3. たな卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
商品	1,048,853千円	870,857千円
貯蔵品	1,749,057千円	1,411,800千円

## ※4. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
投資その他の資産	2,717千円	2,717千円

(四半期連結損益計算書関係)

## ※1. 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
従業員給料及び賞与	940,385千円	875,759千円
賞与引当金繰入額	107,442千円	83,567千円
役員業績報酬引当金繰入額	23,739千円	6,045千円
退職給付費用	36,324千円	41,579千円

## ※2. 店舗家賃免除益

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年8月31日)

新型コロナウイルス感染症の影響により、ショッピングセンターの店舗賃貸人から免除された家賃相当額を店舗家賃免除益として特別利益に計上しております。

## ※3. 雇用調整助成金

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年8月31日)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例処置によるものであります。

※4. 減損損失

I 前第2四半期連結累計期間（自2019年3月1日 至2019年8月31日）

以下の資産グループにおいて減損損失を計上しております。

①減損損失を認識した資産グループの概要

用途	地域	店舗数	種類	金額(千円)
店舗	国内	6	建物等	35,598
			有形固定資産その他	826
			小計	36,424
	中国	8	建物等	29,527
			遊戯機械	34,979
			有形固定資産その他	1,220
			ソフトウェア	343
			小計	66,069
	マレーシア	7	建物等	13,691
			遊戯機械	4,541
			有形固定資産その他	3,932
			ソフトウェア	39
小計			22,205	
店舗計	21	店舗計	124,700	
その他	マレーシア	-	有形固定資産その他	8,485
			ソフトウェア	183
			小計	8,668
	その他計	-	その他計	8,668
合計		21	合計	133,368

②減損損失の認識に至った経緯

当第2四半期連結累計期間において、営業活動から生じるキャッシュ・フローが継続してマイナス又は継続してマイナスとなる見込みである資産グループ、閉店の意思決定を行った資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

③減損損失の金額及び主な固定資産の種類ごとの当該金額の内訳

種類	金額(千円)
建物等	78,816
遊戯機械	39,520
有形固定資産その他	14,464
ソフトウェア	566
合計	133,368

④資産のグルーピングの方法

当社グループは事業用資産について、主として店舗を基本単位としてグルーピングしております。

⑤回収可能価額の算定方法

当社グループは資産グループの回収可能価額を使用価値又は正味売却価額により算定しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年8月31日)

以下の資産グループにおいて減損損失を計上しております。

①減損損失を認識した資産グループの概要

用途	地域	店舗数	種類	金額(千円)
店舗	国内	5	建物等	19,116
			有形固定資産その他	472
			ソフトウェア	1,478
			小計	21,067
	中国	10	建物等	2,650
			遊戯機械	36,582
			使用権資産	496
			有形固定資産その他	1,351
			ソフトウェア	424
			小計	41,505
	フィリピン	10	建物等	53,283
			遊戯機械	4,431
			使用権資産	31,795
			有形固定資産その他	7,420
			小計	96,930
	タイ	2	建物等	7,128
			遊戯機械	23,159
			小計	30,288
	インドネシア	4	建物等	39,465
			遊戯機械	34,214
有形固定資産その他			2,288	
小計			75,968	
店舗計	31	店舗計	265,761	
その他	マレーシア	-	有形固定資産その他	519
			小計	519
	タイ	-	有形固定資産その他	1,799
			小計	1,799
	その他計	-	その他計	2,319
	合計	31	合計	268,081

②減損損失の認識に至った経緯

当第2四半期連結累計期間において、営業活動から生ずるキャッシュ・フローが継続してマイナス又は継続してマイナスとなる見込みである資産グループ、閉店の意思決定を行った資産グループ、経営環境が著しく悪化する見込みである資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

③減損損失の金額及び主な固定資産の種類ごとの当該金額の内訳

種類	金額(千円)
建物等	121,645
遊戯機械	98,387
使用権資産	32,291
有形固定資産その他	13,852
ソフトウェア	1,903
合計	268,081

④資産のグルーピングの方法

当社グループは事業用資産について、主として店舗を基本単位としてグルーピングしております。

⑤回収可能価額の算定方法

当社グループは資産グループの回収可能価額を使用価値又は正味売却価額により算定しております。

※5. 店舗休止損失

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年8月31日)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の取組として、政府及び各自治体からの営業自粛要請や緊急事態宣言を受け、当社グループにおいて店舗施設を臨時休業いたしました。この臨時休業期間中の固定費等を店舗休止損失として特別損失に計上しており、報告セグメントごとの主な内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

内訳	報告セグメント			
	国内	中国	アセアン	計
休止店舗の人件費	1,270,932	171,651	231,757	1,674,341
休止店舗の地代家賃	265,968	135,943	79,456	481,368
休止店舗の減価償却費	819,759	321,663	422,451	1,563,874
休止店舗の店舗維持費等	258,336	10,680	61,172	330,189
計	2,614,996	639,938	794,838	4,049,774

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金勘定	6,028,831千円	6,225,476千円
現金及び現金同等物	6,028,831千円	6,225,476千円

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 配当金支払額

2019年4月10日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	493,173千円
② 1株当たり配当額	25円
③ 基準日	2019年2月28日
④ 効力発生日	2019年4月26日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

2019年10月9日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	493,755千円
② 1株当たり配当額	25円
③ 基準日	2019年8月31日
④ 効力発生日	2019年11月1日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 配当金支払額

2020年4月10日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	493,753千円
② 1株当たり配当額	25円
③ 基準日	2020年2月29日
④ 効力発生日	2020年4月28日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

2020年10月7日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	296,394千円
② 1株当たり配当額	15円
③ 基準日	2020年8月31日
④ 効力発生日	2020年10月30日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,259,014	4,542,338	3,158,610	38,959,963	—	38,959,963
セグメント間の内部売上高 又は振替高	191,314	—	—	191,314	△191,314	—
計	31,450,328	4,542,338	3,158,610	39,151,277	△191,314	38,959,963
セグメント利益又は損失(△)	3,110,650	△366,620	111,636	2,855,666	△2,726	2,852,939

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「国内」セグメント36,424千円、「中国」セグメント66,069千円、「アセアン」セグメント30,874千円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内	中国	アセアン	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,486,511	2,511,500	382,722	16,380,734	—	16,380,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67,297	—	—	67,297	△67,297	—
計	13,553,808	2,511,500	382,722	16,448,031	△67,297	16,380,734
セグメント損失(△)	△4,817,887	△155,736	△823,900	△5,797,523	△1,090	△5,798,614

(注) 調整額は、セグメント間取引消去等によるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に、「国内」セグメント21,067千円、「中国」セグメント41,505千円、「アセアン」セグメント205,507千円の減損損失を計上しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	59円60銭	△360円17銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	1,176,420	△7,115,985
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	1,176,420	△7,115,985
普通株式の期中平均株式数(株)	19,739,383	19,757,185
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	59円50銭	—
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	33,734	19,710
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

(剰余金の配当)

2020年10月7日開催の取締役会において、2020年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| (1) 配当金の総額            | 296,394千円   |
| (2) 1株当たりの金額          | 15円00銭      |
| (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 2020年10月30日 |

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月13日

株式会社イオンファンタジー  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	杉	本	健太郎	Ⓜ
--------------------	-------	---	---	-----	---

---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	隅	田	拓也	Ⓜ
--------------------	-------	---	---	----	---

---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社イオンファンタジーの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社イオンファンタジー及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。



**【表紙】**

<b>【提出書類】</b>	確認書
<b>【根拠条文】</b>	金融商品取引法第24条の4の8第1項
<b>【提出先】</b>	関東財務局長
<b>【提出日】</b>	2020年10月14日
<b>【会社名】</b>	株式会社イオンファンタジー
<b>【英訳名】</b>	AEON Fantasy Co.,LTD.
<b>【代表者の役職氏名】</b>	代表取締役社長 藤原 信幸
<b>【最高財務責任者の役職氏名】</b>	常務取締役 グローバル管理統括兼管理本部長 兼リスクマネジメント担当 新田 悟
<b>【本店の所在の場所】</b>	千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目5番地1
<b>【縦覧に供する場所】</b>	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長藤原信幸及び常務取締役グローバル管理統括兼管理本部長兼リスクマネジメント担当新田悟は、当社の第25期第2四半期（自2020年6月1日 至2020年8月31日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。